



みおくり邸宅 柊江

[仙台市宮城野区]

邸宅葬ブランド3店舗目
今後はFC展開も視野に

仙台市宮城野区に本社をおく専門葬儀社(株)清月記(社長菅原裕典氏)は、2019年11月23日、仙台市宮城野区に「みおくり邸宅 柊江」をオープンした。

JR東北本線東仙台駅から車で7分、仙台駅から車で15分ほどの集合住宅や商業施設が建ち並ぶロードサイドに立地する。

コンビニエンスストアを転用した、敷地面積985.08㎡、鉄骨造平屋建てで、延床面積172.8㎡の規模。館内には、式場(20席)、会食室(20席)、遺族控室(リビング、キッチン、ベッドルーム)、導師控室(2畳)、クロークなどを配置した。

20人規模の邸宅型家族葬会館で、式場と会食室は一体化。式場とリビング、エ

ントランスホール正面と会食会場の間にある間仕切りは可動式で、利用者の希望によってフレキシブルな対応が可能だ。

同社24店舗目、「みおくり邸宅」ブランド3店舗目となる同会館は、泉区の1号店が18年6月に開設し、好評だったことから、19年7月に青葉区の2号店を開設、そして今回の柊江と1年5か月で3会館という異例のスピード開設を行っている。

1号店の間取りを踏襲し、建物のサイズ感もほぼ一緒であるため、利用シーンをパターン化することで効率性の高い諸室配置とし、同ブランドの「少人数で上質な空間を利用したい」層に訴求したものである。

今後も、2つの既存会館の中間地点などにもみおくり邸宅の出店を加速させ、市場認知度を高めるとともに、将来的にはブランドのフランチャイズ展開も見据えている。

なお、スタッフの業務量軽減を目的に、話題性の高い人型AIロボット「Pepper」を、柊江をはじめ、みおくり邸宅ブランド3会館に配置し、見学に訪れた生活者らに対する無人受付業務をトライアルで実施している。

同会館周辺には、大規模な自社会館を複数展開していることもあり、清月記の認知度が圧倒的に高い。そうした強みを活かして、初年度50件、次年度60件の年間施行を目指す。



02



03



04



06



05



07



08

- 01・02 式場とリビングは間仕切りを閉めても利用できる
- 03 式場にはモダンな生花祭壇を配置する
- 04・05 エントランスホールと会食室の仕切りも開放できる
- 06 会食室では飲食事業部「一乃庵」の料理を提供する
- 07 遺族控室のリビングとキッチン
- 08 シックにまとめられたベッドルーム